

繰上償還に伴う経営改革促進効果(つづき)

2 年度別目標等

(5) 下水道事業

区分	目標又は実績	平成14年度 (計画前5年度) (決算)	平成15年度 (計画前4年度) (決算)	平成16年度 (計画前3年度) (決算)	平成17年度 (計画前々年度) (決算)	平成18年度 (計画前年度) (決算見込)	計画前5年間 実績	平成19年度 (計画初年度)	平成20年度 (計画2年度)	平成21年度 (計画3年度)	平成22年度 (計画4年度)	平成23年度 (計画5年度)	計画合計
収入の確保	処理区域内人口(人)	1,440	1,837	1,790	1,842	1,833		1,840	1,845	1,845	1,845	1,845	
	A 増減		397	-47	52	-9	393	7	5	0	0	0	12
	水洗便所設置済人口(人)	1,165	1,176	81	1,257	1,312	212	1,450	1,476	1,549	1,623	1,660	283
	B 増減		11	81	55	65	212	73	26	73	74	37	283
	水洗化率(%)	80.9	64.0	70.2	71.2	75.1		78.8	80.0	84.0	88.0	90.0	
	C 増減		-16.9	6.2	1.0	3.9	-6	4	1.2	4	4	2	15
	有収水量(m <sup>3</sup> )	201,555	227,843	298,064	323,999	313,179	111,624	320,000	325,000	341,000	357,600	365,200	52,021
	D 増減		26,288	70,221	25,935	-10,820	111,624	6,821	5,000	16,000	16,600	7,600	52,021
使用料単価(円/m <sup>3</sup> ) (使用料収入/有収水量)	125	112	93	86	96		98	98	98	98	98		
E 増減		-14	-19	-7	9	-30	2	-0	0	0	0	3	
料金改定率(%) (料金改定実施年度に記載)													
F 増減													
収納率(%)	100	99.5	99.9	99.7	99.5		99.6	99.8	100.0	100.0	100.0		
G 増減		-0.5	0.4	-0.2	-0.2	-0.5	0.1	0.2	0.2	0.0	0.0	1	
その他( )	H 増減												
経営の効率化	職員1人当たりの営業収益(千円)	12,638	25,495	27,811	27,968	30,001		31,441	31,920	33,516	35,112	35,910	
	増減		12,857.5	2,316.0	157.0	2,033.0	17,363.5	1,440	479	1,596	1,596	798	5,909
	職員数(人)	2	1	1	1	1		1	1	1	1	1	
	増減		-1.0	0.0	0.0	0.0	-1	0	0	0	0	0	0
	管理運営費(千円)	54,208	48,489	52,312	59,346	62,700		56,060	56,200	56,400	56,600	56,800	
	I 増減		-5,719	3,823	7,034	3,354	8,492	-6,640	140	200	200	200	-5,900
	処理区域内人口1人当たりの管理運営費(千円) (I/A)	38	26	29	32	34		30	30	31	31	31	
	J 増減		-11.2	2.8	3.0	2.0	-3	-4	-0	0	0	0	-3
	汚水処理原価(円/m <sup>3</sup> ) (汚水処理経費/有収水量)	667	530	451	449	338		284	285	274	261	254	
	K 増減		-137.5	-78.4	-1.7	-111.1	-329	-55	-1	-11	-13	-7	-84
汚水処理原価(維持管理費)(円/m <sup>3</sup> ) (汚水処理経費(維持管理費)/有収水量)	294	235	192	199	216		175	173	165	158	156		
L 増減		-58.9	-42.5	6.3	17.6	-78	-41	-2	-8	-7	-3	-61	
その他( )	M 増減												
使用料回収率(%) (E/K×1,000)	18.8	21.1	20.7	19.2	28.3		34.6	34.5	35.8	37.7	38.7		
増減		2.3	-0.4	-1.5	9.1		6.3	-0.2	1.4	1.8	1.0		
累積欠損金比率(%)													
増減													
企業債現在高(百万円)	1,393	1,459	1,573	1,523	1,464		1,402	1,308	1,236	1,164	1,092		
増減		66	114	-50	-59		63	94	72	72	71		
収入の確保	使用料収入	25,275	25,495	27,811	27,968	30,001		31,441	31,920	33,516	35,112	35,910	
	改善額		220	2,316	157	2,033	4,726	1,440	1,919	3,515	5,111	5,909	17,894
	有収水量の増加		220	2,316	157	2,033		1,440	1,919	3,515	5,111	5,909	
	使用料の適正化												
	収納率の向上												
その他( )													
改善額													
経営の効率化	管理運営費	54,208	48,489	52,312	59,346	62,700		56,060	56,200	56,400	56,600	56,800	
	うち職員給与と費中の退職手当を除いたもの	8,710	4,936	4,499	4,605	4,895		4,976	5,035	5,100	5,200	5,300	
	改善額		3,774	437	-106	-290	3,815	-81	-140	-205	-305	-405	-1,136
	職員給与と費の適正化												
	維持管理費(上記以外)の適正化												
	維持管理費の適正化	49,721	48,074	52,387	59,304	62,349		55,619	55,700	55,800	55,900	56,000	
	改善額		1,647	-4,313	-6,917	-3,045	-12,628	6,730	6,649	6,549	6,449	6,349	32,726
処理施設の効率的な運転管理及び機械類の修繕による適正化	1,647		-4,313	-6,917	-3,045		6,730	6,649	6,549	6,449	6,349		
その他( )													
改善額													
計画前5年間改善額 合計								-4,087	改善額 合計				49,484
												(参考) 補償金免除額	3,266

(収入の確保及び経営の効率化に向けた取組みについて)

使用料単価については平均を下回っており、料金改定は避けては通れないことであるが、水洗化率の向上に努め有収水量を増やすことによる収入の増額を目指す。

水洗化率1%当り399円(H18実績)、H23目標90%×399=35,910千円

下水道は生活に必要不可欠であることから、料金改定の時期、率については十分な検討と住民の納得いく説明資料作りがなければならない。

下水道の整備は完了したため今後新たに維持管理の必要な施設が増えることは無く、また平成18年度までに機械類の修繕を行ってきたため、維持管理経費は減となる。